

鹿島臨海鉄道 安全報告書

2011年度版



大洗鹿島線 北浦湖畔駅・大洋駅間 路盤崩壊

1. 利用者はじめ地元の皆さまへ

当社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社は、経営計画の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆さまからの声を輸送の安全に役立てるため、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

鹿島臨海鉄道(株) 社長 上子 道雄

2. 安全に関する基本的な方針

輸送の安全確保が鉄道事業の使命であることを深く認識し、事故ゼロを目指す。

3. 安全目標

- (1) 8つの特定事故（信号違反、速度超過、居眠り運転、ドア誤扱い、手ブレーキ扱い不良、コンテナ開扉、危険品漏洩、保守間合・線路閉鎖工事取扱い誤り）の絶滅
- (2) 不安全行動（手抜き、違反作業）の絶滅
- (3) 重大な労働災害（死亡、休業災害）の絶滅

4. 安全重点施策

- (1) 安全に関わる業務管理の徹底
- (2) コミュニケーションの活性化
- (3) 社員教育と人材の育成
- (4) 正しい作業の実行
- (5) 事故の正確な把握と再発防止
- (6) リスクの先取り活動
- (7) 運転設備の維持管理
- (8) 危険品輸送の安全確保

5. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 鉄道運転事故（列車又は車両により人の死傷又は物損を生じたもの）

鉄道運転事故の発生はありませんでした。

- (2) 輸送障害（旅客列車については30分以上、貨物列車については1時間以上の遅延や運休が生じたもの）

輸送障害は、13件発生しました。全て自然災害によるものでした。

- (3) 災害（豪雨、地震などによる鉄道施設や車両の被害）

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により全線にわたり甚大な被害を受けました。鹿島臨港線(貨物)は、鹿島サッカースタジアム駅～神栖駅間約350mの区間で津波により路盤・軌道・踏切施設が流失しましたが、6月7日に全線復旧しました。大洗鹿島線(旅客)は、北浦湖畔駅～大洋駅間約260mの区間で路盤の崩壊が発生しましたが、7月12日に全線復旧しました。復旧までの間、貨物輸送はトラックによる代行輸送、旅客輸送は運転本数の大幅な削減と不通区間でのバス代行輸送を行いました。

また、平成23年6月13日、涸沼駅・大洗駅間において土砂流失による線路脇路盤陥没が発生しました。この影響により上下6本の列車が運休、上下2本の列車に34分から14分の遅れが生じました。

- (4) インシデント（運転事故が発生するおそれがあると認められる事態）

インシデントの発生はありませんでした。

- (5) 行政指導等

行政指導等はありませんでした。

6. 安全確保のための取組み

(1) 安全への設備投資

① 老朽化した設備の更新

- ・新銚田駅及び神栖駅構内の信号器具箱の交換を行いました。

② 安全性向上対策

- ・神栖駅構内の重軌条化工事を行い安全性の向上を図りました。
- ・列車に防護無線バックアップ電源装置を新設し保安度の向上を図りました。

(2) 安全実行計画の策定

職場毎の「安全実行計画」を策定し、正しい作業の実行と事故の再発・未然防止等に社員一丸となって取り組んでいます。

(3) 人材教育

JR貨物及び(社)日本鉄道運転協会等で開催している教育研修等を活用し人材教育を実施しています。

(4) 緊急時対応訓練

駅間において列車が故障し自力走行が出来なくなった際の取扱い及び信号機が故障した際に列車を到着させる取扱いについて、JR東日本と合同訓練を実施しました。

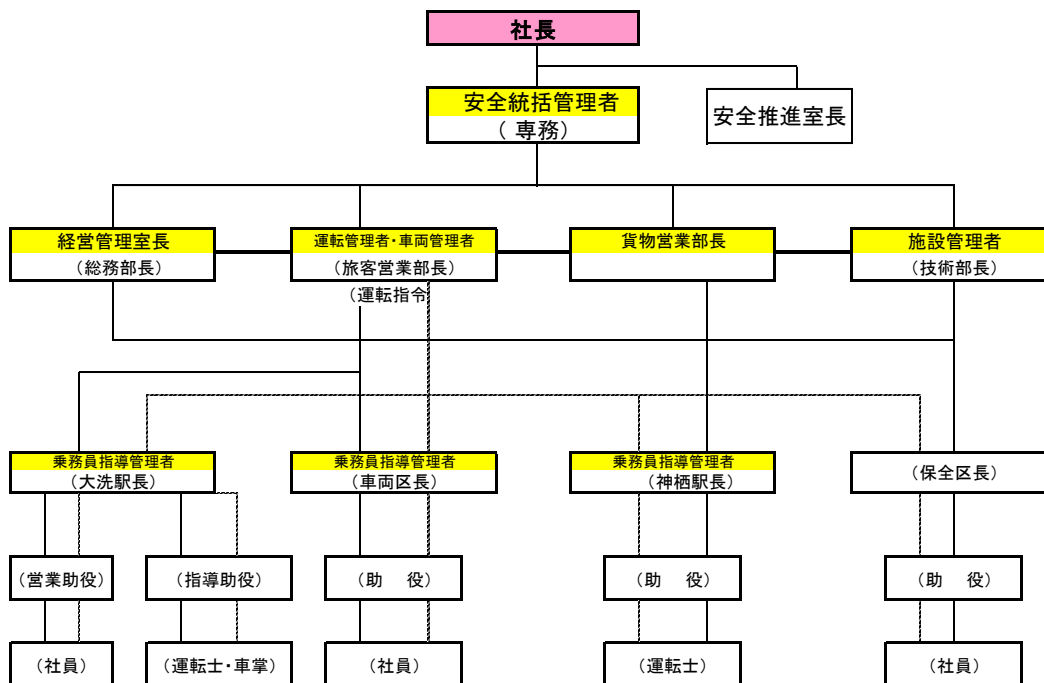
(5) 危険品輸送の安全確保

化成品などの危険品を安全に取り扱うためにハンドブックを整備し、危険品輸送の安全確保に努めています。

7. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

組織及び安全管理体制図



役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
安全推進室長	安全統括管理者の指揮の下、事故・災害等、その他輸送の安全確保に資する情報を分析、整理し、事故防止の検討を行う。
経営管理室長	安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の維持に関する事項を管理する。

8. 地元の皆さまとの連携

安全で信頼される鉄道をつくるため参考にさせていただきますので、皆様のご意見ご要望をお寄せ下さいますようお願いいたします。

ご連絡先

TEL. 029-267-5200 FAX. 029-267-7363

E-mail email@rintetsu.co.jp